

〈二月の言葉〉

「元氣をもらった一言」 P H P 出版より

「道端の野花」

道端に野花が可憐に咲いている。そこに通りかかった人は

立ち止まって眺めていく人

その花を摘んで持ち帰る人

足で蹴飛ばしていく人

まったく目に入らず通りすぎる人・・・

そこに咲いている花になんの変りもないのだけれど、

その花を見て感じる心は人それぞれ違う。

その感じる心に相応しい人生が待っているのです。

「物語を受け止める心のあり方」に目を向けましょう。